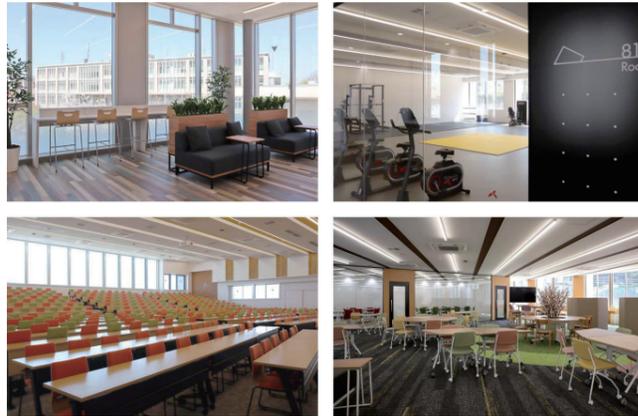


桜花学園大学・名古屋短期大学 名古屋キャンパス8号館



外観

「桜花学園大学・名古屋短期大学」は、「学校法人 桜花学園」が設置した私立大学。このたび桜花学園120周年記念プロジェクトの一環として、愛知県豊明市に位置する名古屋キャンパスに、新校舎8号館が建設された。



内観

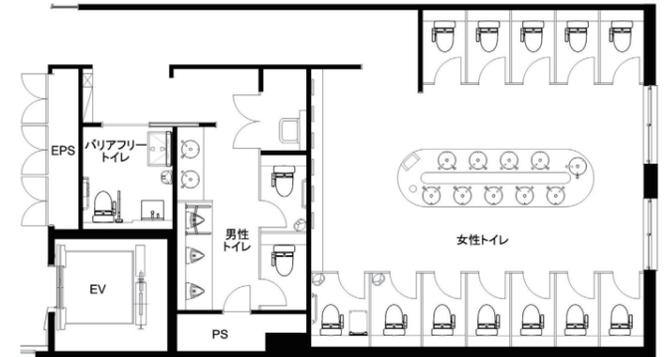
建学の精神をよりどころとしたスタイリッシュな新校舎には、休憩&学習スペースやトレーニングルーム、ラーニングcommonsのほか、講堂が配置されている。



トイレ入口

トイレ入口そばに、バリアフリートイレを設置。扉には、性的マイノリティをはじめ、多様な利用者に配慮して、内部の機能をピクトサインで掲示している。

トイレ図面



女性トイレ 全体

全体がひと目で見渡せ、大便器ブースの空き状況を確認できるアイランド型の洗面カウンターを設置。カウンター中央には、手荷物配慮として1段高くなったドライゾーンを設けている。



女性トイレ スタイルコーナー

身繕いや化粧直しに配慮して設置されたスタイリングコーナー。荷物棚やコンセントの設置など、利用者への細やかな気遣いがうかがえる。



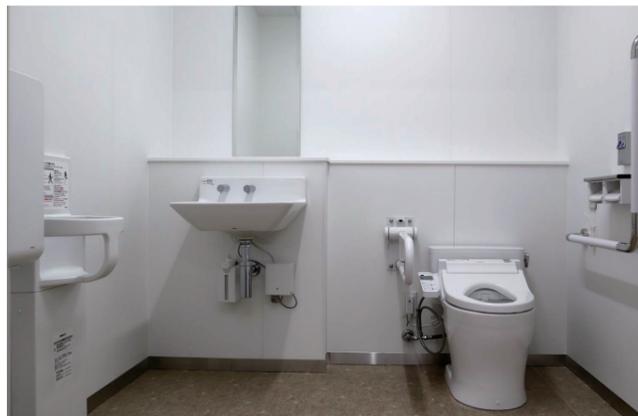
女性トイレ 大便器ブース

大便器は、連続洗浄や同時洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。女性トイレの1ヶ所には、手すりやフィッティングボード、ベビーチェアを完備した広めのブースが配置されている。



男性トイレ 小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。水流を利用した自己発電タイプのため、停電時でも使用が可能となっている。



バリアフリートイレ

バリアフリートイレは、さまざまな身体状況の方やお子様連れ、性的マイノリティなど、多様な利用者に対応できるよう配慮されている。



手荷物配慮

大便器ブース内のライニングや複数のフック、洗面カウンター中央に設えたドライゾーン、スタイリングコーナーの荷物棚など、各コーナー要所に、学生のための手荷物配慮が施されている。

水まわりの特長

建物の特徴

「桜花学園大学・名古屋短期大学」は、1903(明治36)年に創立した愛知県内初の私立看護学校が前身の「学校法人 桜花学園」が、設置した私立大学。2023(令和5)年に120周年を迎えるにあたり記念プロジェクトの一環として、名古屋キャンパスに、新校舎8号館を新築した。デザインコンセプトは「キャンパスに集う学生たちが、豊かな緑に抱かれ自由闊達に成長していける」とし、建学の精神「心豊かで、気品に富み、洗練された近代女性の育成」をよりどころとした、スタイリッシュさを表現している。実世界における技術革新・グローバル化の一層の進展、社会的価値観の多様化など、新潮流に適応すべく、2024(令和6)年からは男女共学化が決定している。

トイレの特長

空間中央に配されたアイランド型の洗面カウンターが特徴的な女性トイレでは、鏡の設置がない洗面と、身繕いや化粧直し専用のスタイリングコーナーを分けて設置。目的にあわせて使い分けることで、利用者の分散が促され、混雑緩和が期待できる。また、アイランド型の洗面カウンターは、開放感を与え、全体的に見通しがよく、大便器ブースの空き状況も確認しやすい。さらに、学生の手荷物配慮を充実。大便器ブース内のライニングや複数のフック設置、洗面カウンターの中央に設えたドライゾーン、スタイリングコーナーの荷物棚など、各コーナーの要所に手荷物のための配慮が施されており、学生のニーズを取り入れたトイレとなっている。

建築概要

名称	桜花学園大学・名古屋短期大学 名古屋キャンパス8号館
所在地	愛知県豊明市栄町武侍48
施主	学校法人桜花学園
設計	株式会社青島設計
施工	建築 株式会社奥村組 名古屋支店 設備 川崎設備工業株式会社

竣工年月	2023年3月
敷地面積	89,460.67㎡
建築面積	1,160.05㎡
延床面積	2,847.54㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
ウォシュレットP:TCF589AU/棚付二連紙巻器:YH702
自動洗浄小便器:UFS900WR/壁掛ハイバック洗面器:LSB135CB
洗面器:LS703/台付自動水栓:TLE26507J/水石けん入れ:TLK05204J
クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W/ペーパーシート:YKA25S
ベビーチェア:YKA15S、YKA16S/フィッティングボード:YKA41R
パブリック用手すり:T114CL9R、T112HK7R、T112CU22